

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年3月26日(2024.3.26)

【公開番号】特開2023-881(P2023-881A)

【公開日】令和5年1月4日(2023.1.4)

【年通号数】公開公報(特許)2023-001

【出願番号】特願2021-101946(P2021-101946)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/494(2006.01)

10

【FI】

A 6 1 F 13/494 1 1 0

【手続補正書】

【提出日】令和6年3月14日(2024.3.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

着用者の前後方向に対応する長手方向とこれに直交する幅方向とを有し、表面シート、裏面シート及び吸収体を備える吸収性本体と、長手方向に延びる防漏カフとを備えた吸収性物品であって、

前記防漏カフは、長手方向に沿って延び且つ長手方向に伸縮可能な一對の内側防漏カフと、長手方向に沿って延び且つ長手方向に伸縮可能な外側防漏カフとを有し、

各防漏カフはいずれも、対向する一對の不織布と、該不織布の間に長手方向に沿って延びるように伸長状態で配置された弾性部材とを有し、

前記吸収性物品の最大伸長状態での平面視において、前記内側防漏カフは、前記吸収体の肌対向面及び非肌対向面のそれぞれにおいて該吸収体と重なる領域を有し、

30

前記内側防漏カフは液不透過性シートを更に備え、

前記液不透過性シートは、

前記吸収性物品の最大伸長状態での平面視において、前記内側防漏カフと前記吸収体の肌対向面とが重なる領域の少なくとも一部に位置するように、前記内側防漏カフに配されているとともに、

前記吸収性物品の最大伸長状態での平面視において、前記内側防漏カフと前記吸収体の非肌対向面とが重なる領域の全域に位置するように、前記内側防漏カフに配されており、前記外側防漏カフは前記吸収性本体の非肌対向面側に配されており、

40

前記裏面シートが、前記内側防漏カフと前記外側防漏カフとの間に配されており、

前記液不透過性シートは、前記内側防漏カフに配された第1液不透過性シートと、前記裏面シートの幅方向両端から延在した第2液不透過性シートとを有し、

第2液不透過性シートが前記裏面シートから幅方向外方に延在するように一体となって構成されており、

前記内側防漏カフは、起立端となる基端部と、自由端を含む自由端部との間に、該自由端部が幅方向外方に折り曲げられた折り曲げ部が形成されており、

第2液不透過性シートの端部の位置は、第1液不透過性シートの幅方向内方側に位置する端部の位置と平面視において重なるか、又は

第1液不透過性シートの幅方向内方側に位置する端部よりも幅方向内方に位置する、吸収性物品。

50

【請求項 2】

前記吸収性物品の最大伸長状態での断面視において、前記第 2 液不透過性シートの端部が、第 1 液不透過性シートの幅方向内方側端部よりも幅方向外方に位置する、請求項 1 に記載の吸収性物品。

【請求項 3】

前記内側防漏カフは、長手方向に沿って二つ折りされて対向する不織布によって形成されている、請求項 1 又は 2 に記載の吸収性物品。

【請求項 4】

前記液不透過性シートは、前記内側防漏カフにおける前記不織布の間に配された部位を有する、請求項 3 に記載の吸収性物品。

10

【請求項 5】

前記自由端部は、前記液不透過性シートが存在しない部位を有する、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の吸収性物品。

【請求項 6】

前記折り曲げ部において幅方向外方に折り曲げられて、前記基端部側に位置する下方域と、前記自由端側に位置する上方域とに区分されている、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の吸収性物品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0079

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0079】

< 13 >

前記内側防漏カフは、起立端となる基端部と、自由端を含む自由端部との間に、該自由端部が幅方向外方に折り曲げられた折り曲げ部が形成されており、

第 2 液不透過性シートの端部の位置は、第 1 液不透過性シートの幅方向内方側に位置する端部の位置と平面視において重なるか、又は

第 1 液不透過性シートの幅方向内方側に位置する端部よりも幅方向内方に位置する、前記 < 10 > に記載の吸収性物品。

30

< 14 >

前記内側防漏カフは、起立端となる基端部と、自由端を含む自由端部との間に、該自由端部が幅方向外方に折り曲げられた折り曲げ部が形成されており、

吸収性物品の弛緩状態において、第 1 液不透過性シートは、前記内側防漏カフの幅方向の内方の面に露出した部分を有するように配されており、

第 1 液不透過性シートが前記内側防漏カフの自由端部における前記不織布の間に配された部位を有する、前記 < 10 > に記載の吸収性物品。

< 15 >

前記内側防漏カフは、起立端となる基端部と、自由端を含む自由端部との間に、該自由端部が幅方向外方に折り曲げられた折り曲げ部が形成されており、

吸収性物品の弛緩状態において、第 1 液不透過性シートは、前記内側防漏カフの幅方向の内方の面に露出した部分を有するように配されており、

第 1 液不透過性シートが、前記内側防漏カフの自由端部における前記不織布の間に配されていない部位を有する、前記 < 10 > に記載の吸収性物品。

40

50